

かど の 葛野の鐘

図書館報 一第 13 号一



京都光華女子大学図書館
2006.4発行
(<http://www.koka.ac.jp/toshokan/>)

(題字は元暦校本萬葉集より集字)



短期大学部に新学科開設!!

こども保育関係の 図書・雑誌が入りました



電子図書館の復興

図書館長 谷 敏 夫

一昨年頃から、学生達が共同で作成した課題作品の冒頭に興味深い文言が表れだした。つまり、参照や引用をした出典について「可能な限り印刷図書を情報源とし、インターネット情報は参考にとどめた」という考え方が強く出始めてきたのである。

一時期はどのレポートも参考文献欄に必須の図書や雑誌があがらず、判読しがたいURLで埋まっていたこともあり、自浄作用として喜んでいる。

1990年代半ば頃には、まだインターネットを情報源として参照するのは否定的だった。それが徐々に今世紀初頭にかけては、インターネットによる最新の情報なくして論立てするのは怠惰に思われ出した。そして、図書や雑誌は情報が旧弊故に、参考情報源に値しないという風潮さえ生まれた。

そして現代。学生達はインターネット情報に対する過度の期待を止め、信憑性、恒常性に疑いを持ち始め

てきた。端的に言えるのは、情報発信者の不明瞭な場合が多く、匿名性が高い。これは文責を半ば放棄した姿であり、同時に信憑性に欠ける。こうした情報は、引用はおろか参考にすることさえ不適切と認識された。そして、恒常性に欠けるとは、すなわち参考文献欄にURLを記しても、数日後にアクセスが出来なくなる事態が頻出する。ある日、図書館の本棚が消えたり、図書館自体が消滅するようなものである。

インターネット情報総体と電子図書館とは異なるものであると長く考えてきた。他方電子図書館という概念は21世紀初頭にかけてインターネット情報総体によって置き換えられた感すらする。しかしそれは別種である。電子図書館は情報総体の野ざらし状態を指すのではなくて、組織化した知識の樹を意味する。

そういう観点から新たな電子図書館の復興を考え、志向してみたい。

(文学部・全学共通教育センター 情報図書館学)



忘れえぬ一冊

短期大学部 こども保育学科

よし むら けい こ
吉 村 啓 子

私は兵庫県のN市で育ちました。私が子どもの頃、大きな図書館は市役所の近くに一つあるだけでした。そのかわりというわけではないかもしれませんが、市には巡回図書館がありました。これは大型バスを改良したもので、あらゆる本を積んで市のいろいろな所に出張するミニ図書館です。そのバスの「停留所」がたまたま私の家の前でした。確か、土曜日の午後、月に2回来ていたと思います。バスが来ると近隣の子どもから大人まで、バスに乗り込み選書します。

巡回図書館での、今でも忘れられないエピソードがあります。確か私が中学3年生くらいだったと思います。井上ひさし著の『モッキンポット氏の後始末』という本を、あるお祖母ちゃまの後に借りることになっ

ていました(次の予約もできる)。私の手元に来たその本には、シールでいたる所に封印がしてありました。不思議に思い母に見せると、母も困惑し、とりあえずその方に電話で問い合わせることになりました。そして判明したのが、「お嬢ちゃんの教育上好ましくない所には封をしておきました」ということでした。結局母が検閲し、「封をあけて読んでも大丈夫」という結論が出て、読むことを許されました。この本には、明治生まれの女性の気遣いと、「私、そんなに純情でなくてごめんさい」という思い出が加わり、私にとって内容以上に忘れられない一冊となっています。

(心理学)

新潮現代文学 79 918.6/シ/79 A書庫



砂の本

人間関係学部 人間関係学科

なが た よう いち
長 田 陽 一

3~4年前からだろうか。ほくと書物との関係に変化がおこり、読むということが、それ以前とそれ以後ではまったく異なった経験となってきたのは。

ボルヘスの『砂の本』という小説では、突然あらわれた見知らぬ男が「最初のページを探してごらんさい」と「わたし」に告げる。しかし何度試みても最初のページはでてこないばかりか、本のなかから新しいページが湧き出ているかのようである。その本は、砂と同じように始まりもなければ終わりもなかった。狼狽する「わたし」に、その見知らぬ男は「あるはずがない、しかしあるのです」と断言する。

ほくにとっての“砂の本”は、たぶんデリダの著作だったと思う。最初に手にしたのは『ポジション』という彼の対談集で、デリダ思想の入門書的な本だった。しかし、これが恐ろしく難解で、対談のはじめの2ページを読むのに少なくとも半年かかってしまった。というのも、彼独自の用語が何の説明もなく次々に登場

するというだけでなく、それらが他の書物と呼び寄せ、読むことを求めるのである。いうなれば、眼前のページの彼方に無際限の書物の連関があり、他の本を読んで再び『ポジション』に戻ると、そこにまた別の書物の連関が浮かんできて、それぞれの言葉にまた混乱や軋みが生じるのである。言葉の意味が、手のなかから砂がこぼれ落ちていくように、つかみどころもなくざわめき、戯れている。

書物には絶対的な始まりがなく、また終わりもない。『砂の本』の「わたし」は、最初は夢中になったこの宝物をしだいに「真実を傷つけ、おとしめる淫らな物体」と感じるようになる。そして「砂の本」を図書館に隠すのである。ほくらが手にしている本にも悪魔的なものが宿っているのだろうか。書物を読むこと、そして思考することとは、危険を冒すことだと最近ますます思うようになってきた。

(臨床心理学)

集英社ギャラリー[世界の文学] 19 908/15/19 3階閲覧室



私の司書課程奮闘記

文学部 英語英米文学科

平成14年3月卒業

ふく い り え
福 井 理 絵

私は英文科を卒業し、この図書館で働いていますが、在学中に司書資格を修得しなかったため、今回、科目履修生として司書課程を履修しました。

午前中は授業、午後からは図書館の仕事、と大変ハードな一年間でした。しかし、学生の頃とは比べものにならないほど授業に集中し、課題に真剣に取り組むことができました。それは図書館に勤めながら専門的な図書館学を学ぶことが、私にとってとても相互に良いヒントを与えてくれたからだと思います。いつもの図書館の仕事がレポートの参考になり、反対に授業で教わったことは実際の業務で役立っています。

司書課程で特に印象に残っているのは共同演習です。グループで課題を仕上げるため何度も班員と話し合い、精神的にも肉体的にも辛いときもありましたが、完成したときの達成感はひとしおです。また、同じグループになった学生さんと仲良くなれました。この共同演習によって、1人ではなく、何人かで1つのものに取り組むことの楽しさ、難しさを知り、今後の仕事をしていくうえでとても役立つことと思います。

まだまだ司書としては未熟な私ですが、この経験を生かしてみなさんのお役に立てる司書を目指していきたいと思っています。

私の薦めるこの一冊



『創造的論文の書き方』 伊丹敬之著 有斐閣

人間関係学部 社会福祉学科 妻 鹿 ふみ子

本格的な論文を書くことはつらい作業である。仕上げたときの充実感は何物にも代えがたいが、テーマを設定し、アウトラインを明確にして論文の骨格を作り上げる作業が辛い。この作業嫌さに執筆をつい後回しにしてしまう。

しかし、この本に出会って、つらかった骨格作りの作業がわずかながらも楽しいと思えるようになった。論文の論理構築の「肝」とも言うべき、仮説の立案までのプロセスをこんなにわかりやすく示してくれる類書を他に知らない。

例えば、テーマを探すプロセスは京の町家の貸家探しと同じだ、というたとえが示される。これは、間口が狭く、奥行き深い京の町家と同じで、優れた論文は「入り口は狭く、奥行きは深く」なければならないというたとえである。つまりどの町家（テーマ）に絞

るかを定めるプロセスにおいては、表は同じようでも、奥には意外な広がりある町家を一軒一軒たずねるように、書きたいテーマの周辺をうろつかねばならない、という示唆であり、含蓄に富む。

他にも、仮説を育てるときには、論理に矛盾がないか「なぜを三度問うてみる」ことであるとか、1つの研究がうまくいくと新しい研究の種が見つかるが、それを今書いている論文に全部入れ込んでしまわず、次の論文のための「あめ玉」として残しておくことの大切さであるとか、本書には随所に「あなるほど」と思わせる言葉や示唆がある。

論文執筆のプロ、これから卒論という論文執筆に初めて取り組む学生、どちらにも役に立つ、社会科学の論文書き方本ナンバーワンである。 (社会福祉学)

816.5/Ihi 3階閲覧室



『鎌倉幕府』 大山喬平著 小学館

文学部 日本語日本文学科 野 田 泰 三

いまから30年程前、小学館『日本の歴史』シリーズ(全32巻)の1冊として、一般向けに書かれた書物です。この頃、鎌倉幕府をめぐる研究が大きく進み、頽廃堕落した都市貴族による朝廷政治を地方出身の質実剛健を旨とする武士が打破するという、それまでの単純な鎌倉幕府像に修正を迫りました。その結果、鎌倉幕府は京都の王朝国家に対峙する東国を基盤とした独立国家であるという説と、幕府・頼朝は王朝国家に奉仕する一軍事貴族であるという説、2つの相異なる見解が提唱されることになるのですが、このような研究状況のもとで著者大山氏が自身の見解を示したのが本書です。関東武士の利益を擁護するために挙兵した源頼朝が王朝国家との熾烈な駆け引きを経て権力を手中にしていく過程とその後の幕府政治の在り方が、中央と地方の状況、思想や文芸の動向もまじえつつ、いき

いきと描かれています。頼朝は、新しい中世国家建設のためには弟義経をも犠牲にすることも厭わない、非常に冷徹かつ先見性をもった人物として描かれています。

実は著者の大山氏は私の学生時代以来の恩師です。そしてその大山氏がいまの私と同じ年齢の時に書かれた本ということもあって、私にとっては大変思い入れの深い書物となっています。この後も日本史のシリーズ物は数多く出版されており、また研究自体も深化していますが、本書は今なお“新しさ”を失ってはいません。歴史は決して暗記物ではありません。当時の史料を紐解き、人々の思考や意識、社会の状況を発見・復元していく作業です。本書を通じて、歴史の醍醐味・面白さを味わっていただければ幸いです。(日本中世史)

210.42/Oky 2階閲覧室

数字で見る図書館の動き

開館状況

年度	開館日	開館日数	入館者	貸出冊数	貸出人数
15	15.4.10~16.3.18	233	54,886	12,186	6,451
16	16.4.10~17.3.18	249	44,115	14,456	7,595
17	17.4.9~18.3.24	255	50,922	17,278	9,403

年間受入冊数 (平成17年度)

	和書	洋書	消耗図書	計
購入	5,141	419	1,088	6,648
その他	267	40		307
計	5,408	459	1,088	6,955

蔵書冊数 (平成18年3月現在)

	和書	洋書	計
図書	約162,300冊	約27,900冊	約190,200冊

相互利用件数

年度	複写依頼	複写受付	閲覧依頼	閲覧受付	貸借依頼	貸借受付
15	187	715	38	25	10	15
16	272	644	47	44	6	23
17	352	631	131	43	1	29

所蔵調査件数

年度	学内調査	学外からの依頼
15	146	45
16	282	70
17	481	69



✧ Topics ✧

◆みんなで選ぼう！キャンペーンの実施

平成16年度にDVDのリクエストによる購入を実施したところ、平成17年度は視聴覚資料の利用が平成16年度の3倍以上になりました。第2弾として、雑誌のリクエストキャンペーンを実施し、2誌を新しく購読することになりました。そして第3弾としてまた、DVDキャンペーンを行いました。新しい資料は4月から皆さんにご利用いただけます。

◆図書館ツアーについて

平成16年度までは主に上級生を対象としてゼミ単位や個別のツアーを実施していました。平成17年度から1年生対象の「大学基礎講座」の授業と連携し、授業の中に図書館の見学ツアーを取り入れました。今年もまた行いますので、新入生の皆さん「大学基礎講座」で大学での勉強方法を学び、図書館を上手に生かして、充実した大学生活を送りましょう。

◆大学祭に展示で参加しました

平成17年11月27日(日)に大学祭にあわせて「KOKA'S STORY-なんで、学校のまん中に5条通がとっているんだろ!?-」と称して光華女子学園の65年の歩みを図書館の資料を使って紹介しました。田畑だけの風景に、学生さんはビックリし、近隣の方は懐かしいという声があがっていました。

詳しい学園の歴史は「光華女子学園五十年史」(377.28/35

1階閲覧室の光華コーナー)をご覧ください。

昭和30年の学園の全景



✧ 寄贈図書一覧 (平成17年1月~12月受入) ✧

寄贈者の50音順 (敬称略)

<現旧教職員 (非常勤を含む)>

朝比奈 英夫
新撰万葉集注釈 巻上1 他

飯 沼 万里子
聖女の条件 他

可 藤 豊 文
瞑想の心理学 [ハンゲル版]

加 来 一 丸
フランス小説に描かれた花と樹木

木 戸 美 幸
ウィッシュリスト: 願い、かなえます 他

河 野 佐 奈 江
新・輪唱のたのしみ

柴 田 周 二
生活支援のための家政学概論

清 水 康 次
二十世紀旗手・太宰治

高 野 弘 幸
はじめての教育相談室

高 屋 慶 一 郎
American landscape

田 中 久 美 子
ボールドウィン詩集 他

太郎丸 博
所有をめぐる〈私〉と〈公共〉 他

八 本 木 浄
戦前期日本官僚制の制度・組織・人事

肥 留 川 嘉 子
京都学ことはじめ

平 川 泰 司
シェイクスピアの面白さ 他

山 本 淳 子
紫式部集論

<在学生・卒業生・学園関係者 他>

春 日 海
殺し屋虎島

外 村 香 織
「心理テスト」はウソでした 他

森 田 千 里
ネイティブスピーカーの英文法

※図書の詳細はOPACで調べることができます。
※1階光華コーナーにも現旧教職員の寄贈図書があります。
※この他に、学外の方からも多数の図書をご寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

✧ Information ✧

◆こども保育関係の図書が増えました

短期大学部にこども保育学科が開設されました。図書館には幼児教育・保育を中心に心理学、児童福祉などに関する資料が入り、2階閲覧室に配架しました。

◆図書館・共同研究室等の資料の利用について

図書館の利用については『図書館利用案内』をご覧ください。各共同研究室の利用については、それぞれの研究室でお尋ねください。図書館・共同研究室の資料は図書館のOPACで検索することができます。

◆図書館利用証

学生証で入館、図書の貸出、AV資料の視聴等ができますので、図書館を利用するときは必ず持って来てください。

✧ Schedule ✧

4月6日(木)	図書館ガイダンス(新入生)
4月7日(金)	9:00~16:00開館
4月8日(土)	9:00~12:00開館
4月10日(月)	9:00より平常開館
4月11日(火)	返却期限日(春休み貸出)

編集後記 ご寄稿くださいました皆様には心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。